



あきらめない心で

念願の全国の舞台へ

栗原朋也さん (15歳・下池守)

8月19日から21日まで山梨県甲府市で開催された第43回全国中学校体操競技選手権大会。今月は同大会に初出場した栗原朋也さんを紹介しします。

アトラントオリンピック日本代表として、体操競技に出場した栗原茂さんを父に持つ朋也さん。自宅には、父・茂さんの現役時代の写真がたくさん飾られているそうです。幼いころからその写真を目にしていた影響から、自然と「体操をやりたい」という思いが込み上げ、小学2年生のときに市内の体操教室に通いました。

遊び感覚で体操を始めた朋也さんですが、バック転などすぐに高度な技を習得。「1週間に4回練習がありました。楽しくてしょうがなかったです」と語ります。しかし、4年生のときにアクシデントが襲います。練習中に肩を脱臼してしまっただけです。治療しても何度も肩が抜け、一時は体操をあきらめかけたこともありましたが、1年間満足な練習が



できず、悔しい経験をした朋也さんは、5年生になると目の色を変え、真剣に練習に取り組むようになりました。

父が所有していた倉庫を体操用の練習場に改修したことをきっかけに、所属していた体操教室を辞め、親子二人三脚で再出発したのは6年生のとき。「以前よりも練習時間が増え、マンツーマンで父が指導してくれたおかげで、難度の高い技も習得することができました」と振り返ります。集中して体操に打ち込む環境が整ったことで朋也さんは、中学3年生までが参加する県大会で小学生にして入賞するほどの実力を付けていました。

中学入学後も体操を続け、2年生のときには、関東大会に出場。しかし、演技中のミスを引きずり、全国大会への出場を逃してしまいました。今年の関東大会は、去年の教訓を生かし、「ミスをして絶対にあきらめない」という並々ならぬ強い気持ちをもって挑んだ朋也さん。前半の苦手な規定演技を何とか通過し、後半は得意の自由演技で挽回した結果、見事全国大会への切符を手に入れ、去年のリベンジを果たしたのです。

初の全国大会は、緊張から本来の実力を発揮できず、入賞を逃してしまっただけです。「思い切っちゃったんですけど。まだまだ練習が足りないですね」と大会を振り返ります。「将来は父のように世界大会で活躍できる選手になりたい」と照れながら目標を語る朋也さん。オリンピック選手のDNAを受け継ぐ少年は、近い将来、世界という大舞台へ羽ばたいていくことでしょう。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

俳句

忍 伊藤 英子

類なでる風のすがしき星月夜

持田 二瓶 弘子

減りつつも輝く青田目にうれし

佐間 須永 節子

八十路過ぐずしりと重き残暑かな

桜町 吉岡 守子

流れ星どこにゆくのか北の空

須加 栗原かね代

父母になき歳を重ねて秋茄子

城南 千代田富子

猛暑の中野球一すじメタル手に

齋条 中村 英子

朝焼や川のせせらぎ窓辺から

富士見町 森 節子

すゞ虫や初音のリズム優しけり

荒木 高澤よね子

日焼して通う自転車高校生

前谷 町田 貞子

涼風にお洒落を押しされ若くなり

白川戸 松本 忠之

苦勞の手見せ合う老の猛暑かな

(木島 斗川 監修)

持田 小倉 繁三

来て嬉し帰ってホットの夏休み

持田 丸山 麟一

鈴虫や心の奥にある孤愁

城西 八木橋近蔵

蛸の声聞く夕べ里の暮

下須戸 澤田 郁

母と子の連弾の手や夏休み



「コスモス」(油彩) 金子 一男 (旭町)



並木 遙ちゃん(佐間)
父・徹也さん 母・晴美さん
平成23年10月10日生まれ
「胡桃と仲良く元気に育ってね」



久保亜妃奈ちゃん(門井町)
父・雅章さん 母・真弓さん
平成23年10月12日生まれ
「優しく思いやりのある人に」



小林 寛弥ちゃん(谷郷)
父・直樹さん 母・紀美さん
平成23年10月23日生まれ
「心も体も丈夫な子に育ってね」



鎌田 陽乃ちゃん(押上町)
父・優一さん 母・真奈さん
平成23年10月29日生まれ
「笑顔のステキな女の子になつてね」



大谷 光琉ちゃん(谷郷)
父・貴之さん 母・瞳さん
平成23年10月13日生まれ
「光り輝く道を歩んでね☆」

平成23年12月生まれのお子さんを募集します

○10月1日(月)～31日(水)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、11月2日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



さわやか サークル

レオターズ

～楽しく体を動かすことを原点に～

「笑顔で体を動かしてもらいたい」とほほ笑むのは講師の小林さんと田中さん。ウォームアップをした後、フィットネスダンスや腹筋などを鍛えるエクササイズを行い、クールダウンでは、翌日に疲れを残さないよう心地よい曲に合わせてストレッチをします。また、クリスマスなどの時期にはクリスマスソングに合わせて踊るなど、最新の曲から懐かしい曲まで、テーマごとにさまざまなジャンルの曲を

活動しています。 「運動不足を解消し、楽しく充実した生活を送りたい」という思いから、昭和60年に結成した同クラブ。発足時から活動を続けているメンバーもいて、当時、クラブで取り入れていたエアロビクスダンスは最先端の運動で、リズムにのって体を動かすことが、おしゃやかな健康志向のはりりでした」と語ります。現在は、20～60歳代とさまざまな年代のメンバーで



軽快な音楽に合わせて、楽しく体を動かすフィットネスダンス。全身の筋肉を使う有酸素運動がシェイプアップにつながる上、肩こりや腰痛などにも効果がある



使うので、飽きずに楽しくシェイプアップを続けることができるそうです。さらに、骨盤のゆがみを緩和する骨盤体操や、美脚を作ることが出来るバレエエクササイズなど多種多様な体操も取り入れています。 自分のペースに合わせて続けられるのも魅力の一つ。メンバーの中には、妊娠中でもレッスンに参加していた方もいました。「体調に合わせて動きをアレンジしてもらえたので、出産後も無理をせず続けることができました。おかげで、体のラインも元に戻りました」と笑みを浮かべます。 「無理なく体力づくりができるので、今ではレッスンが生活の一部。これからも楽しく美と健康を追求していきたい」と生き生きとした表情で語るメンバーの皆さん。初心者の方も年配者の方も、いつまでも若々しい皆さんと一緒に、楽しく体を動かしてみませんか。

▶問い合わせ 小山☎559-2407